

自己を**認識**し 自分の人生を**選択**し **表現**することができる力

「自己を認識する力」とは…

自分は何が好きなのか、自分はどういふ人間なのかなど、自分自身のことを理解することができる力のことです。

こうした力を身に付けるために

自分自身のことを理解しようとするのが大切です。そのためにも、普段から自分自身のことや自分の意見などを大切に、学校や家庭で、友達や先生、家族などに素直に話すことに、積極的に取り組みましょう。

「自分の人生を選択する力」とは…

自分の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力のことです。

こうした力を身に付けるために

学校や家庭の様々な場面で、「自分はどうか考えるのか」「自分はどうしたいのか」などを意識し、「自分で考え・選び・決める」ことを習慣付けていくことが大切です。
自分が出した結論を大切にしながら、様々なことに、積極的に取り組みましょう。

「表現する力」とは…

自分自身のことや自分の意見などを、相手に理解してもらえようように、相手や場面に応じて、言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる力のことです。

こうした力を身に付けるために

自分自身のことや自分の意見などを、きちんと相手に伝えることができないと、正しく理解してもらえないことや、誤解を与えてしまうことがあります。
「自分の伝えたいことを相手にきちんと伝えるには、どうしたらよいか」ということを意識しながら、伝える内容や方法、話し方などを工夫しましょう。

新しい入学者選抜制度のポイント

主体的に志望校を選択

各高等学校の学科・コースの特色に応じた入学者選抜の充実を図り、中学生の一層の主体的な学校選択を実現します。

全ての高等学校において、教育目標（スクールポリシー）や育てたい生徒像、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、入学者選抜の実施内容（実施する検査の項目や配点）などを事前に公表します。

受検生は、教育目標や入学者選抜の実施内容などを事前に確認し、自分の進路の希望などに合った学校や学科・コースを、自分で選択し、決定することができます。

調査書を簡素化

調査書に記載する内容を見直します。

受検生が通う中学校の校長が作成する調査書に記載する内容を、選抜に必要な項目のみとします。

令和5年度から

志望校 氏名 性別 学習の記録(評定)

入学者選抜に係る期間を短縮

入学者選抜に係る期間を短縮し、各中学校・高等学校の教育の充実を図ります。

入学者選抜に係る期間を短縮することで、各中学校・高等学校において、授業や学校行事の時間を増やすなど、これまで以上に教育活動を充実させることができるようになります。

令和5年度から

一次選抜
2月下旬または
3月上旬

二次選抜
3月中旬または
3月下旬

受検生全員に「自己表現」を実施

受検生全員に自分自身のことを表現する自己表現を実施します。

「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているのかをみるため、受検生全員に自己表現を実施します。
自分自身のことや、高等学校に入学者になった後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現してもらいます。

新しく中学1年生になったみなさんへ

先生や友達に何でも話すことができ、相談することができる安全で安心な学校生活の中で、みなさんは「自己を認識する力」や「自分の人生を選択する力」、「表現する力」を身に付けることができると思います。

みなさんは、自分の夢や目標を大切にしながら、「自分らしい」中学校生活を送ってください。